

広報



~わたしたちが創る~希望と活力あふれる 十和田

とわだ

1

No. 279

2026



広報とわだ 目次

- 2 年頭あいさつ
- 4 物価高騰の影響に対する支援事業
- 8 市の財政状況をお知らせします
- 15 お知らせ

広報とわだブラッシュアップ企画



P10-11

2026 シークワーズ

本年も笑顔あふれる一年となりますように
市のPRキャラクターの駒松くん(左)と駒桜ちゃん(右)が
干支の「午」にちなんだ書き初めを見せてくれました。

公式マスコット
キャラクター
アップリート君



青の煌めきあおもり国・スポーツ・障・スポ

開催まであと 9 ル月

謹賀新年

「笑顔あふれるまち」を目指して

十和田市長 櫻田 百合子



あけましておめでとうございます。
市民の皆さんにおかれましては、新しい年
を健やかにお迎えのことと、心からお喜び申
し上げます。

令和7年1月30日に市長に就任してから、
間もなく一年を迎えようとしております。振り
返りますと、物価高騰など厳しい経済状況
が続き、生活に不安を抱える方も多いかったの
ではないかと思います。

そのような中、市では、皆さんに少しでも安
心と笑顔をお届けするため、6月に一人当たり
4千円分の「笑顔あふれる応援券」を発行し、
10月にはPayPayを活用したデジタルポイント
還元事業を実施いたしました。

また、自然の脅威に直面した年でもあります。
8月の記録的な大雨では、冠水や土砂崩れにより奥入瀬渓流などの通行が規制され、
12月には青森県東方沖地震が発生し、初めて
北海道・三陸沖後発地震注意情報も発表され
ました。さらに、全国的な問題となっており
ますクマの人里への出没が深刻化し、本市で
も目撃情報が多数寄せられ、残念ながら人身

被害も発生しました。国・県による対応も進
められる中、市では、わなの捕獲状況を遠隔
で確認できるAI赤外線カメラや動態感知セン
サーを導入するなど、対策の強化に努めました。

一方、明るい話題として、青樅山トンネル
の避難坑が2月に貫通し、6月には本坑工事
が開始されました。このトンネルを含むバイ
パスの整備は、災害時の安全な通行の確保や
自然環境の保全と活用、さらには地域経済の
活性化にもつながるものと期待しております。

また、3月には「十和田市観光戦略2025-
29」を策定し、「自然とアートを核に稼いで潤
う持続的な観光地域づくり」を目指し、観光
消費の拡大などに取り組んでおります。

DX（デジタル・トランスフォーメーション）
の取り組みも推進しており、市ホームページ
へのAIチャットボットの搭載、市役所別館や
コミュニティセンターなどのWi-Fi設備の拡
大、また青森県市町村DX加速化推進事業のモ
デル自治体として窓口業務改革を実施してお
ります。



▲青樅山トンネルの本坑工事が開始



▲笑顔あふれる応援券



▲窓口利用体験調査（DX推進）



▼大雨被害現場の視察▶



▲国スポ・障スポ公式マスコット
キャラクター「アップリート君」

こうした中、本年も引き続き、市民の皆さ
まとの連携・協働を図りながら「期待ふくら
む！笑顔あふれるまちづくり！」の実現に向
けて、一步一步着実に歩みを進めていきたい
と考えております。

そのため、本年4月から市の組織を再編
し、新たな体制にいたします。新設するシティ
プロモーション課ではSNSなどを活用した情
報発信の強化、企画調整課と財政課では行政
課題の解決と効率的な財政運営を推進します。
また、観光課を新設し、観光行政の専門性を
高め、産業振興課では産業創出やふるさと納
税を通じて地域経済の活性化を強化します。
これらの改革により、より利便性が高く、安
心して暮らせるまちを目指してまいります。

さらに、子どもたちが天候に左右されず伸
び伸びと遊び、子育て世代が交流できる場と
して、市民交流プラザ「トワーレ」を活用し、
屋内遊戯施設を整備いたします。

そして、本年はいよいよ「青の煌めきあお
もり国スポ・障スポ」が開催されます。本市
では、国スポ競技として正式競技3種目、公
開競技2種目、デモンストレーションスポー
ツ2種目、障スポ競技として正式競技1種目
を実施します。スポーツ文化の振興を図る絶
好の機会です。市民一丸となって盛り上げて
いきましょう。

今後も、持続可能な十和田市の発展を目指
し、魅力あるまちづくりに取り組んでまいり
ますので、皆さまのご理解とご協力を賜りま
すよう、よろしくお願い申し上げます。

年頭にあたり、市民の皆さまのご健勝とご
多幸、そして笑顔あふれる一年となりますこ
とを、心からお祈り申し上げ、新年のごあい
さつといたします。



物価高騰の影響に対する支援事業

②～⑤の事業は、国の「重点支援地方交付金」を活用しています。

① 物価高対応子育て応援手当支給事業

問こども支援課 ☎0176-51-6717

支給額

0歳～高校生年代の
子ども1人につき

2万円

対象 令和7年9月30日時点の児童手当受給者、
令和7年10月1日～令和8年3月31日に
出生した児童に係る父母など

2月下旬から順次、児童手当と同じ口座へ振り込みます
(原則申請不要)。
申請が必要な世帯へは、1月下旬に案内を郵送します。



▲詳しくは
こちらから

② 生活困窮者に対する灯油購入費助成事業

問生活福祉課 ☎0176-51-6700

支給額

1世帯につき 7,000円

対象 令和7年12月1日において、市の住民
基本台帳に記録され、令和7年度住民税
非課税世帯または住民税均等割のみ課税
されている世帯

詳しくは、市ホームページまたは2月以降に対象となる
見込みの世帯へ送付する案内をご確認ください。



▲詳しくは
こちらから

③ 事業者への支援

※申請が必要です。申請方法はQRコードから市ホームページをご確認ください。

事業名	支給額	対象	申請・問い合わせ
畜産飼料価格高騰対策 支援給付金事業	法人 10万円 個人 5万円	市内に住所または事業所を有し、 畜産業を営む事業者で、市に家畜伝染病予防法に基づく飼育頭数の報告を行っている者	農林畜産課 ☎0176-51-6745
原料米価格高騰対策 支援事業	1俵につき 上限 3,000円	市内に住所または事業所を有し、 酒類、こうじ、みそ、しょうゆ、 米粉などを製造する事業者	とわだ産品販売戦略課 ☎0176-51-6743
物価高騰対策中小企業 者支援給付金事業*	法人 10万円 個人 5万円	事業収入額が月平均10万円以上の の中小企業者 ※複数の店舗を所有している場合は店舗ごとに支給	商工観光課 ☎0176-51-6773

*農業者および国・県から給付を受けられる医療・介護・福祉・保育などの事業者は対象外です。

申請期間 いずれも 1月13日(火)～2月27日(金)

支給額や対象は、表に記載している他にも要件があります。
詳しくは市ホームページをご確認ください。

④ デジタルポイント還元事業

問情報政策課 ☎0176-51-6711

キャッシュレス決済「PayPay」を使った
ポイント還元事業を実施します。詳しくは、
広報とわだ2月号に掲載予定です。

⑤ 市民応援券発行事業 (1人につき 7,000円分)

問商工観光課 ☎0176-51-6773

市内各店舗などで利用できる商品券を配布します。
詳しくは、広報とわだ3月号に掲載予定です。

令和
8年度

認可保育所・認定こども園の 4月からの利用申し込みを受け付けします

申問 こども支援課 ☎0176-51-6717

4月から認可保育所、認定こども園（保育所機能部分）への入所、入園を希望する人の利用申し込みを1月8日(木)から受け付けします。

なお、認定こども園の幼稚園機能部分を利用する場合は、各認定こども園へお問い合わせください。

※施設ごとに定員があるため、利用希望を踏まえて市が調整を行います（先着順ではありません）。

※希望する施設の見学を済ませてから、お申し込みください。

① 受け付け日時

期間	時間	申込先
1月8日(木)～30日(金) (土・日曜日、休日を除く)	8：30～17：15	こども支援課 (保健センター内)



② 保育の認定 (入所・入園できる基準)

認定を受けるためには、保護者のいずれもが次のような事由に該当する必要があります。

- 月48時間以上の就労、求職活動、就学
- 妊娠・出産
- 病気や障がい、親族の看護・介護、災害復旧など

③ 利用者負担額 (保育料)

保護者の市民税額を基に算定します。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

市ホームページはこちらから▶



④ 提出書類

申し込みに必要な「教育・保育給付認定申請書」や「保育利用申込書」は、こども支援課で配布しているほか、市ホームページからもダウンロードできます。

※提出書類は保育の認定理由により異なりますので、詳しくはお問い合わせください。



利用施設一覧

※見学を希望する場合は、施設に直接お問い合わせください。

認可保育所

0歳児～就学前の保育が必要な子どもを、保護者に代わって保育する施設です。

友愛保育園	☎ 0176-23-3098
第二友愛保育園	☎ 0176-23-4514
第三友愛保育園	☎ 0176-23-4792
豊ヶ岡保育所	☎ 0176-27-3466
白菊かねざき保育園	☎ 0176-23-4369
白菊保育園	☎ 0176-23-2997
第二白菊保育園	☎ 0176-23-3829
第三白菊にこにこ保育園	☎ 0176-23-3363
第四白菊保育園	☎ 0176-27-2508
第五白菊保育園	☎ 0176-22-1903
八郷保育園	☎ 0176-22-6206
とわだこ中央保育園	☎ 0176-70-3061
さくら保育園	☎ 0176-58-5482
すずらん保育園	☎ 0176-22-2590
十和田つくし保育園	☎ 0176-25-1294

認定こども園

幼稚園と保育所の両方の役割を果たす施設で、教育と保育を一体的に提供する施設です。

チビッコハウス保育園	☎ 0176-23-6333
緑と太陽の保育園	☎ 0176-24-3088
小さな森こども園	☎ 0176-23-4793
さつき幼稚園	☎ 0176-22-1636
まきばのこども園	☎ 0176-22-1456
認定こども園生きがい十和田	☎ 0176-51-0019
まるくこども園	☎ 0176-21-4703
みきの保育園	☎ 0176-51-0171
十和田めぐみ保育園	☎ 0176-22-0141
ひかり保育園	☎ 0176-23-3446
十和田みなみ幼稚園	☎ 0176-23-3797
ほなみ保育園	☎ 0176-22-2589



「自分が好き、ふるさと十和田市が好き」という気持ちを育む本市独自のキャリア教育事業は、市立小・中学校で各校の特色を生かして行われています。今号では、南小学校と大深内中学校の取り組みを紹介します。

※児童・生徒の感想は、ほぼ原文のまま掲載しています。

問 指導課 0176-58-0183

南小学校

「夢を咲かせる会」(全校)

「夢を咲かせる会」は、20年以上続く伝統の児童会行事です。5、6年生がイベントを企画・運営し、1～4年生は異なる学年で班を作りイベントを回ります。

「みとめあい なかよく みんなのしい 南小学校」が表現される心ひとつになる行事です。



おかげ釣りゲーム



沢尻 和真さん (6年)

今までぼくたちは、先輩方にたくさん楽しませてもらいました。今度は、ぼくたちが1～4年生を楽しませる番です。この繰り返しが南小の伝統をつなぐことになります。夢を咲かせる会の「夢」というのは将来の夢を見つけることはもちろんですが、みんなにとって夢の空間になることだと考えています。ぼくは、この2つの夢とみんなの笑顔を咲かせ、自分も全力で楽しみたいです。



小泉 陽幹さん (6年)

ぼくは、この会で目標に向けて意見を出し合いみんなで協力する大切さを学びました。一人一人がやるべきことをやり、協力し合うからこそ、みんなで作りあげた夢を咲かせる会になると思います。今年は最高学年として新たな学びを見つけられるようにやるべきことをやり、南小学校みんなで作りあげる会にしたいです。



平館 夏希さん (6年)

4年生までは、夢を咲かせる会のイベントを楽しむ側でしたが、5・6年生になると昨年よりもっと楽しいイベントになるように、工夫や改善点などを話し合います。今年は、夢を咲かせる会に「りんご娘」が来るので「青森らしいアイディア」を取り入れました。私は、6年生なので、最後の「夢を咲かせる会」になります。全校の思い出に残る最高の「夢を咲かせる会」にして、これからも南小学校の伝統として続けてほしいです。



新井田 紗那さん (5年)

田植え体験では、豊川さんから、苗は3～4本束にして植えることを教えてもらいました。できるだけ足を動かさず、苗を植える場所に土がなくならないよう気をつけながら、丁寧に植えることができました。稻の観察やタンポックル作りをしながら、お米大使を目指して頑張ります。



水田の妖精「タンポックル」



大前 結菜さん (5年)

稻刈りでは、稻を結ぶ作業がとても大変でした。人生で初めて田植えや稻刈りをしてみて、農家の方々は苦労しながらも、私たちのために米作りをしてくださっていることを感じました。だから、これから朝昼晩のご飯の時には、農家のみなさんへ感謝を込めて食べたいです。



稲作体験学習

石倉 杏美さん (5年)

私が脱穀作業をして分かったことは、今の時代の脱穀にはコンバインは欠かせないものだということです。コンバインの米を入れる場所に300kgも米が入ると聞いてすごいと思いました。さらに、コンバインで刈り取れる稻の列数を「1じょう、2じょう」と数えるのが面白かったです。

大深内中学校

「キャリア校外学習」(全校)

生徒たちの勤労観・職業観を育てる学習として、青森市にある「ジョブカフェあおもり」を初めて訪問しました。職業講話を聞いたり、ライフキャリアすごろくをしたりすることで、働く意義や将来の職業選びについて考えるきっかけづくりを行いました。



ライフキャリアすごろく



伊沢 陽依さん (3年)

今回の訪問で、今の自分はあまり将来のことをイメージしていないことがよく分かりました。話をきいたり、すごろくをしたりして、将来について具体的にイメージしたことで、将来の職業選択は早めに考えておくことが大切だと感じました。これからの進路決定にも役立てていきたいし、自分の「やりたいこと」としっかり向き合っていきたいと思いました。



山崎 悠仁さん (2年)

最初に話を聞いていた時は「難しそうだな」と思いましたが、働くことの意義や職業選びなどについて詳しく学ぶことができたし、すごろくで友達と楽しみながら自分の将来の選択について深く考えることができてよかったです。今回の体験を通して、まだ2年生だけど、将来のことを考えていくことがすごく大事だと思いました。



伊田 哉翔さん (1年)

ライフキャリアすごろくをやってみて、生きていく中でいろいろ選択する場面がありました。すごろくで選んだ人生にするのか、それとももっといい人生にしていくのかを考えながら学校生活を過ごしていきたいです。将来や仕事について、前よりも興味がわいてきたので、これからの進路のことを少しづつ考えてみたいですね。

「地域を学ぶ（施設見学学習）」(全校)

「地域を知る学習」を行い、郷土を愛し、郷土に貢献しようとするとする生徒の育成に取り組んでいます。本年度は、全校で青森市の「三内丸山遺跡」を訪問し、さまざまな体験を通して、改めて自分たちの住むふるさと、青森県の良さを感じてきました。



三内丸山遺跡



田中 勇雅さん (3年)

初めて三内丸山遺跡を訪れて、縄文時代の生活や建物などに触れ、当時の人たちの暮らしをよりリアルに感じることができました。見学中に外国人観光客に英語でガイドする練習をしている小学生たちと出会い、堂々と説明する姿を見て刺激を受けました。石器や土器に触れる体験では、昔の人たちが工夫しながら道具を作っていたことがよく分かりました。実際に見ることで、縄文時代の理解が深りました。



甲田 彩さん (1年)

小学校で見に行ったニツ森貝塚よりも広く大きな場所でした。復元された家に入ってみて、昔の人たちはこんな家に住んでいたかと思うと、不思議な気持ちになりました。石器でクルミを割る体験をしたとき、今と違って昔は木の実を食べるのもひと苦労したんだと思いました。今回の体験を通して、歴史って思ったより楽しいかもしれないと思いました。

地域で「まなび」、地域で育つ 学校以外での子どもたちのチャレンジ

問 スポーツ・生涯学習課 0176-58-0186

市では、子どもたちが地域の中で多様な体験や交流に挑戦できる社会教育活動を行っています。友好都市との交流、寺子屋稻生塾、北里大学夏休み体験学習などでは、小・中学生が仲間と協力し合い、高校生や大学生、地域の方々と関わる中で新たな発見や成長を重ねています。小中高生の皆さん、地域での「まなび」に参加してみませんか。



土佐町親善交流事業
さめうら湖でのSUP体験



第2回寺子屋稻生塾
ニンニクの植え付け体験



北里大学夏休み体験学習
子牛の診察体験



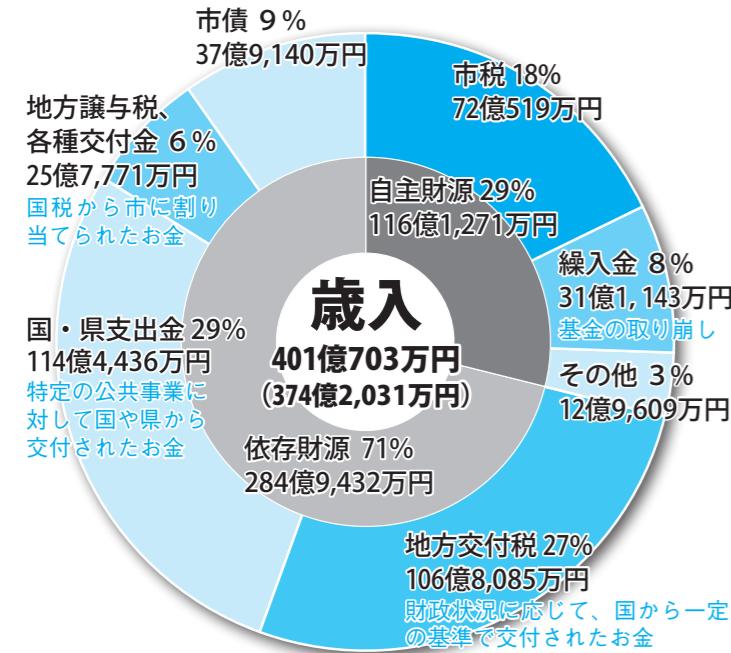
▲詳しくは、市ホームページをご覧ください

市の財政状況をお知らせします

問政策財政課 0176-51-6713

令和6年度決算状況

一般会計 ※1万円未満は四捨五入 () 内は前年度数値



基金残高：149億6,125万円（153億9,499万円）

家計簿に例えると

令和6年度の一般会計決算を日本の1世帯当たりの平均所得536万円の家計簿に例えると次のとおりになります。
(厚生労働省「令和6年国民生活基礎調査」参考)



収入内訳		536万円
給料	市税	97万円
パート収入	使用料、手数料など	5万円
親からの援助	地方交付税、国・県支出金など	332万円
借金	市債	48万円
貯金引出	繰入金	43万円
その他	財産収入、寄附金など	11万円
貯金残高	基金残高	200万円

支出内訳		517万円
食費	人件費	48万円
光熱水費	物件費	47万円
医療費	扶助費	124万円
仕送り	繰出金、補助費など	126万円
家の改築など	普通建設事業費	90万円
借金の返済	公債費	40万円
その他	維持修繕費、出資金など	42万円
借金残高	市債残高	453万円

会計		収入	支出	企業債残高
水道事業	収益的	16億8,171万円	13億7,485万円	68億513万円
	資本的	10億491万円	14億1,093万円	
下水道事業	収益的	24億7,186万円	23億2,456万円	148億6,834万円
	資本的	11億7,367万円	21億2,178万円	
病院事業	収益的	87億3,868万円	98億252万円	87億7,855万円
	資本的	9億1,904万円	13億2,025万円	

地方消費税交付金（社会保障財源化分）

地方消費税交付金の増収分については、次の社会保障施策の経費に充当しました。

事業名	事業費	充当額
社会福祉（高齢者、障がい者など）	86億1,832万円	4億4,076万円
社会保険（国保、介護など）	12億9,361万円	1億8,928万円
保健衛生（予防、医療など）	17億9,450万円	2億6,888万円
合計	117億643万円	8億9,892万円

特別会計

会計	歳入	歳出
国民健康保険事業	60億5,788万円	58億7,447万円
後期高齢者医療	9億7,867万円	9億4,496万円
介護保険事業	79億1,054万円	76億8,188万円
温泉事業	1億332万円	5,831万円

公営企業会計

会計	収入	支出	企業債残高
水道事業	収益的	16億8,171万円	13億7,485万円
	資本的	10億491万円	14億1,093万円
下水道事業	収益的	24億7,186万円	23億2,456万円
	資本的	11億7,367万円	21億2,178万円
病院事業	収益的	87億3,868万円	98億252万円
	資本的	9億1,904万円	13億2,025万円

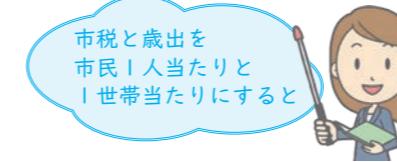
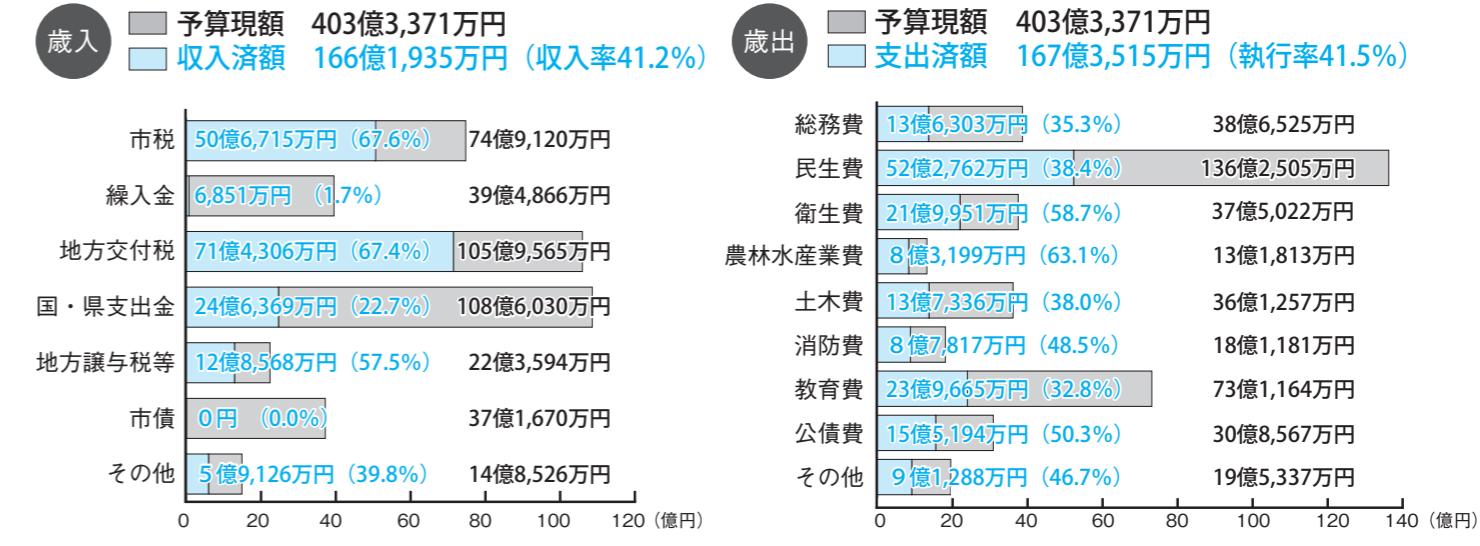
※収益的とは運営にかかるもの、資本的とは設備にかかるものです。

市では、財政の運営状況や各会計の予算の執行状況を年2回公表しています。今号では、令和6年度決算状況および令和7年9月30日現在の令和7年度予算執行状況をお知らせします。

令和7年度予算執行状況

※令和7年9月30日までの収入・支出済額
1万円未満は四捨五入

一般会計（歳入・歳出とも令和6年度からの繰越分を含む）



令和7年9月30日現在の人口56,795人、世帯数28,206世帯で算出

市税	市民1人当たり 8万9,218円 (市税収入済額÷人口)
歳出	1世帯当たり 17万9,648円 (市税収入済額÷世帯数)
市民1人当たり 29万4,659円 (歳出の支出済額÷人口)	
1世帯当たり 59万3,319円 (歳出の支出済額÷世帯数)	

特別会計

会計	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険事業	58億8,498万円	21億875万円	35.8%	24億6,194万円	41.8%
後期高齢者医療	9億5,788万円	4億5,273万円	47.3%	2億7,800万円	29.0%
介護保険事業	81億5,713万円	33億5,553万円	41.1%	33億2,228万円	40.7%
温泉事業	1億376万円	5,387万円	51.9%	5,697万円	54.9%

公営企業会計

会計	収入			支出		
	予算現額	執行額	執行率	予算現額	執行額	執行率
水道事業	17億4,887万円	7億9,739万円	45.6%	17億1,507万円	3億3,022万円	19.3%
下水道事業	21億1,704万円	4,991万円	2.4%	24億9,783万円	2億3,030万円	9.2%
病院事業	26億3,856万円	14億9,216万円	56.6%	25億9,146万円	3億4,724万円	13.4%
資本的	16億7,240万円	2億2,003万円	13.2%	25億9,094万円	7億4,819万円	28.9%

市債および企業債残高

会計	金額
一般会計	324億243万円
公営企業会計	87億7,855万円
水道事業	65億7,526万円
下水道事業	141億5,235万円
病院事業	82億6,646万円

一時借入金の状況

病院事業会計：19億6,000万円

※一時借入金とは、一会计年度内に現金が不足した場合に借り入れるお金であり、公営企業会計では3月31日までに償還しなければならないものです。



▼健全化判断比率と資金不足比率は市ホームページをご覧ください。

2026 シークワーズ



シーキューズのクイズの答えをマスから探してみよう！

余ったマスの文字を組み合わせると、どんなキーワードが出てくるかな？

クイズとアンケートに答えた人へ、抽選でお年玉プレゼントを差し上げます！



シークワーズのルール

- ① 縦、横、斜めに読みます。
- ② 読み方は、下から上、右から左のこともあります。
- ③ 同じマスを何回か使うこともあります。
- ④ 「つ」など、マスの中の文字は大小の区別をしません。

あ	わ	な						
み	か	ん						
さ	め	さ						

読み方の例

- …みかん
- …さかな
- …わかめ



広報とわだのバックナンバー(令和7年1月号～12月号)から答えを探してみよう



スマートフォンアプリ

カタログポケット
Catalog Pocket を使ってクイズに挑戦！

アプリから広報とわだを閲覧する方法

- ① QRコードからカタログポケットへアクセス
- ② 利用規約に同意し、閲覧したい号を選択

- ③ 画面上の App Store Google Play を選択し、アプリをダウンロード

Available in 10 Languages !



クイズ（ヒント【●月号】の対象号を読んで探してみよう！）

2文字

- ① 冬のイベント「十和田湖○○物語」【1月号】
- ② 市が編さんを進めている「十和田○○」【6月号】

3文字

- ① 糖尿病予防を呼び掛けるために令和7年11月に実施した「○○○ライトアップ」【11月号】
- ② 10月に開催される障スポの正式競技「○○○ボール」【7月号】
- ③ とわだ産品PRキャラクターで、ネギをPRしている「十和田○○○」【4月号】

4文字

- ① 令和7年3月から入居開始となった市営住宅「北園団地」と「○○○○団地」【2月号】
- ② 令和7年8月に市民文化センターで公開収録が行われた「出張！なんでも○○○○団」【5月号】
- ③ 十和田湖で取れる淡水魚「十和田湖○○○○」【6月号】
- ④ 昭和52年に青森県で開催された「○○○○国体」【7月号】
- ⑤ 10月に開催される国スポの正式競技「相撲」「バスケットボール」「○○○○」【7月号】
- ⑥ 紅葉期には展望デッキなどから美しい景観が楽しめる「○○○○」【8月号】
- ⑦ サークル活動やイベントなど、市民活動の場となっている「市民交流プラザ『○○○○』」【3月号】
- ⑧ 市内の高校に通う生徒たちが挑戦した「十和田市学生魅力発信プロジェクト『○○○○』」【10月号】
- ⑨ 「アートのまちのリビング」をコンセプトとした「地域交流センター『○○○○』」【12月号】

8文字

- ① 日本国内に住む全ての人と世帯を対象とした5年に一度の調査「○○○○○○○○」【9月号】
- ② 青の煌めきあおもり国スポ・障スポの公式マスコットキャラクター「○○○○○○○○」【7月号】

応募方法

問総務課 0176-51-6702

宛先 〒034-8615 (住所記載不要) 十和田市役所 総務課 広報男女参画係

応募期限 1月 29 日(木) ※当日消印有効

電子申請システムから回答、またははがきに住所・氏名・生年月日・電話番号・キーワードの回答・次の「広報とわだアンケート」の回答を記入して郵送してください。応募者の中から抽選で25人に図書カードが当たります（当選の発表は発送をもって代えさせていただきます。クイズの答えは広報とわだ2月号に掲載予定です）。

電子申請システムは1月1日から応募できます▶



広報とわだアンケート

- (1) 「広報とわだ」をご覧になる頻度はどのくらいですか？（次の①～④のいずれかの番号を記入）
 - ①毎号読む ②たまに読む ③ほとんど読まない ④全く読まない
- (2) 「広報とわだ」の内容は分かりやすいですか？（次の①～④のいずれかの番号を記入）
 - ①分かりやすい ②まあまあ分かりやすい ③やや分かりにくい ④分かりにくい
- (3) 令和7年2月号から令和8年1月号の「広報とわだ」の中で特に印象に残った記事は何ですか？

（記入例：〇月号〇ページ）※広報とわだのバックナンバーは「カタログポケット」から閲覧できます。
- (4) 市に関する情報を、普段どのようにして入手していますか？（複数回答可）
 - ①紙版・広報とわだ ②アプリ版・広報とわだ（カタログポケット） ③アプリ版・広報とわだ（マチイロ）
 - ④市ホームページ ⑤市ホームページ以外のインターネット上の情報 ⑥市が発信しているSNS
 - ⑦市以外が発信しているSNS ⑧新聞 ⑨テレビ ⑩ラジオ ⑪その他
- (5) (4) で「⑥」を選択した人にお聞きします。入手先のSNSはどれですか？（複数回答可）
 - ①LINE ②Instagram ③Facebook ④YouTube ⑤ブログ ⑥X ⑦TikTok
- (6) 今後取り上げてほしい記事など「広報とわだ」に関するご意見・ご要望を自由にお書きください。



北海道・三陸沖で想定されている 巨大地震に備えましょう



問 総務課 ☎ 0176-51-6703

令和7年12月8日に発生した青森県東方沖地震では、最大震度6強を観測し、本市においても震度4を観測したほか、気象庁から**北海道・三陸沖後発地震注意情報**が発表されました（特別な注意の呼びかけは令和7年12月16日午前0時で終了）。

今回の後発地震注意情報を踏まえ、**地震への備えを改めて確認し、災害発生時には、市からの情報やテレビ、ラジオなどの災害情報に注意し、命を守る行動をとりましょう。**

*本県の太平洋側を南北に走る日本海溝・千島海溝沿いでは、東日本大震災のときのように、マグニチュード7.0クラスの地震の後に、より大きな後発地震が発生する可能性があります。実際に後発地震が発生する確率は100回に1回程度といわれていますが、ひとたび巨大地震が発生すると、その被害は甚大なものとなります。

日頃から万が一に備えましょう

備蓄しておくもの

- 懐中電灯 ラジオ 電池 ろうそく 簡易ガスコンロ
 - 使い捨てカイロ 食料と1人1日3ℓの飲料水（3日分を目安に）
- ※年齢や性別、持病・アレルギーの有無などに応じて、日頃から家庭で使っている物を考慮し備蓄しておきましょう。

避難するときに持つもの

- 貴重品…現金、印鑑、預金通帳、本人確認書類（運転免許証、マイナンバーカード）など
- 衣類・洗面道具…下着、靴下、防寒具、眼鏡（老眼鏡）、洗面具、入れ歯、タオル、せっけん、シャンプー、生理用品、紙おむつなど
- 水・食料品…飲料水、非常食、粉ミルクなど
- その他…懐中電灯、携帯ラジオ、電池、軍手、ライター・マッチ、ティッシュペーパー、使い捨てカイロ、雨具、救急医療品、お薬手帳、常用薬など



15ページも
ご覧ください

災害時に自力で避難することが難しく、支援を必要とする人をあらかじめ登録しておく「避難行動要支援者名簿」について紹介しています



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ NEWS



Vol.4

公式マスコットキャラクター
アップリート君

問 国スポ・障スポ大会推進課 ☎ 0176-58-0189

令和8年（2026年） いよいよ開幕！

10月に、青森県では49年ぶりとなる国スポと、初開催となる障スポが開幕します。市民の皆さんも、開催期間中のボランティアや競技の観戦、関連イベントなどへぜひご参加ください。

今号では、国スポ・障スポの開幕に向けて実施した子どもたちの取り組みを紹介します。

一緒に盛り上げよう



市立三本木中学校での
ふるさと出前きらめき講座



さつき幼稚園の園児による
「青の煌めきダンス」



市立十和田中学校の生徒による
「応援のぼり旗」制作

公式SNS
情報発信中



Instagram
X

農業委員と農地利用最適化推進委員を募集します

農業委員と農地利用最適化推進委員の任期が令和8年7月19日で満了となることから、新たな委員を募集します。

農業委員会では、主な事務である農地などの利用の最適化を推進するため「農業委員会等に関する法律」に定められた事務を行っています。

農業委員は市長が議会の同意を得て任命します。また、農地利用最適化推進委員は、農業委員会が担当区域を定めて委嘱します。

農業委員と農地利用最適化推進委員は密接に連携し、それぞれの役割を果たしていくことが求められます。

地域農業の発展には、女性や農業者以外の人のお力添えも必要です。
積極的な推薦・応募をお待ちしています。

農業委員会等に関する法律に定められている農業委員会の事務必須の事務

- ①農地法などに基づく事務
 - ・農地の権利移動の許可
 - ・農地転用の許可申請への意見
- ②農地などの利用の最適化の推進
 - ・担い手への農地利用の集積・集約化
 - ・遊休農地の発生防止・解消
 - ・新規参入の促進

任意の事務

- ①法人化など農業経営の合理化に関すること
- ②農業一般に関する調査および情報提供に関すること

項目	農業委員	農地利用最適化推進委員
募集人数	19人（うち、中立委員*を1人以上） *農業委員会の事務に関し利害関係を有せず、かつ中立の立場で公平な判断ができる農業者以外の人	14人（担当区域*ごとに募集） *担当区域は募集要項をご覧ください。
応募資格	20歳以上で、農業に関する識見を有し、農地などの利用の最適化の推進に関する事項その他の農業委員会の所掌に属する事項に関し、その職務を適切に行なうことができる人	20歳以上で、農地などの利用の最適化の推進に熱意と識見を有する人
募集要項・応募様式の配布	配布場所 農林畜産課、農業委員会事務局	市ホームページからもダウンロードできます▶
応募方法	所定の応募様式に必要事項を記入し、持参または郵送により応募してください。 自薦、他薦のどちらでも応募できます。 他薦は、20歳以上の個人3人以上の推薦、あるいは、法人または団体の推薦が必要です。	
応募期間	1月16日(金)～2月16日(月) 午前8時30分～午後5時15分（土・日曜日、休日を除く） ※郵送の場合は2月16日(月)必着	
身分	十和田市の非常勤職員	
主な仕事	農地の貸借・売買、農地転用許可などについて、総会に出席して審議、判断を行います。	担当区域での農地利用の最適化のための実践活動として、地域の農業者の話し合いの推進、農地パトロールや新規参入の支援活動などを行います。
任期	令和8年7月20日～令和11年7月19日	農業委員会が委嘱した日～令和11年7月19日
報酬	月額39,000円	月額30,000円
お問い合わせ申込先	農林畜産課 ☎ 0176-51-6736 (本館2階)	農業委員会事務局 ☎ 0176-51-6740 (別館4階)

*農業委員と農地利用最適化推進委員の両方に応募できますが、農業委員と農地利用最適化推進委員を兼ねることはできません。詳しくは募集要項をご覧ください。

令和8年度会計年度任用職員の登録を受け付けします

募集区分	事務補助員（障害者枠）	事務補助員①	事務補助員②	事務補助員（短期）					
勤務場所／業務内容	各課・各施設／事務補助（主にパソコンを使用）								
対象	高等学校卒業以上の人（障害がある人でも業務に従事できる場合は申し込みできます）								
勤務日	月～金曜日（休日を除く）※1								
勤務時間	①、②のいずれか ①午前9時～午後5時 ②午前9時～午後4時	主に 午前9時～午後5時※1	主に①、②のいずれか ①午前9時～午後4時 ②午前9時～午後3時※1						
報酬	①月額180,900円～194,000円 ②時給1,203円～1,280円	月額180,900円 ～194,000円	時給1,203円～1,280円	時給1,203円					
手当	通勤手当、期末手当、勤勉手当の支給あり（期末手当および勤勉手当は、任用期間6カ月以上の場合に支給）								
保険	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、公務災害補償		雇用保険、公務災害補償						
任用期間	令和8年4月から令和9年3月までの間で、業務内容により期間を決定								
	最長12カ月		最長2カ月						
面接試験	2月9日(月)、10日(火)、13日(金)(予定)	なし（書類選考のみ）							
提出書類	① 会計年度任用職員登録申込書 (市役所本館1階総合案内、または総務課に備え付けてあるほか、市ホームページからもダウンロードできます) ② [事務補助員（障害者枠）、事務補助員①を希望する人で提出書類を郵送する場合] 110円切手を貼り付け済みの返信用封筒（後日、面接受付票を送付します） ③ 障害者手帳の写し（該当者のみ）								
申込期限	2月2日(月)必着	随時受け付け※2							
申し込み方法	提出書類を持参または郵送（〒034-8615（住所記載不要）十和田市役所総務課宛て）により提出ください。								
その他	採用の可否については3月下旬に通知します。採用とならなかった場合は、採用待機者として1年間登録されます。詳しくは市ホームページ、または総合案内、総務課に備え付ける募集要項をご覧ください。								
申・問	総務課☎ 0176-51-6705								

*1 業務内容により変更となる場合があります。*2 令和8年4月からの勤務を希望する人は3月6日(金)までに申し込みください。

あなたの街の法律相談

～第81回～



市民の皆さんの身近な事柄を取り上げ、法律の面から弁護士が解説します。今回は「落雪にご注意ください」です。
問まちづくり支援課☎ 0176-51-6777

Q 自宅の屋根に積もった雪が落下して隣の家に被害を及ぼさないか心配です。

A 雨水については土地の所有者は直接隣地に注ぐ構造の屋根などを設けてはならないという規定があります。落雪について直接定めた規定はありませんが、建物などの設置、保存に瑕疵があれば所有者が損害賠償責任を負うことがあるとの規定があり、自宅屋根の雪が落ちて隣の家に被害を及ぼせば責任問題になります。

Q 実際にトラブルになることはあるのでしょうか。

A 屋根などに積もった雪が自宅敷地を越えて隣家との境のフェンスや建物、車両などに直接落下して壊しトラブルになることがあります。

Q 既に隣の家から屋根から雪が落ちてこないように申し出がされていますがどうすればよいでしょうか。

A 実際に雪が屋根から落ちて隣地の物を損壊した場合には賠償責任を負う可能性があります。このようなことにならないよう、自分の敷地にある程度の高さのある丈夫な壁を設けて雪が自宅敷地内に落ちるようにする、屋根に雪止めを設置して屋根から雪が落ちないようにする、といった予防策を考えられます。

Q これから家を建てる場合にはどのようなことに注意すべきでしょうか。

A 民法では建物を建てるには境界線から50センチメートル以上離して建てなければならないという規定があります。本市のように雪の多い地域では、家を建てるときには隣地との境界付近に建てない、屋根などから雪が直接隣地に落ちないよう隣地との境界から1メートル以上離して建てる、といった配慮をすることが大切です。

Q 雪かきのトラブルも起きがちです。

A 雪は誰のものでもありませんが、自宅敷地の雪かきの際、隣の家に雪がいって迷惑をかけないようにしましょう。雪国に暮らす者同士、安心して暮らせるようにお互いに心掛けたいものです。

(文責 弁護士 橋本 明広)
弁護士法人青空と大地
☎ 0176-21-5162

iお知らせ

◆十和田市役所の住所

〒034-8615
十和田市西十二番町6番1号

◆十和田市役所の電話番号

(代表) 0176-23-5111

※土・日曜日、休日は閉庁

◆市ホームページ

<https://www.city.towada.lg.jp/>



QRコードは開拓ソーウェーブの登録商標です。

◆お知らせの表記

申…申込先

問…問い合わせ先

「申し込み方法（★）」…申請書や申込書などは、担当課に備え付けまたは市ホームページからダウンロードできます。

※費用の記載がないものは無料です。

乱丁・落丁がある場合はお取り換えしますので、ご連絡ください。

暮らし

令和8年十和田市消防出初式

とき・ところ 1月18日(日)

▶午前9時～ 市長巡閲、分列行進ほか（官庁街通り） ▶午前10時～ 式典（市民文化センター）

※午前8時から10時まで官庁街通りが通行止めになります。また、午前8時に消防本部のサイレンが鳴りますので、火事と間違えないようご注意ください。

問十和田消防本部警防課

☎ 0176-25-4111

償却資産の申告を受け付けします

市内で事業（農業を含む）を営む個人および法人は、事業に使用している資産を償却資産として申告する必要があります。適正な固定資産税の算定のため、忘れずに申告してください。

申告期間 1月5日(月)～2月2日(月)

問申税課☎ 0176-51-6769

避難行動要支援者名簿に登録しましょう

申間生活福祉課☎ 0176-51-6718

■名簿の登録対象者

- ▶満70歳以上の1人暮らしの人、または満70歳以上の人で構成された世帯の人
- ▶介護保険の要介護認定3以上の人
- ▶身体障害者手帳等級1・2級の人（心臓・腎臓の障がいのみの人を除く）
- ▶愛護手帳A判定の人
- ▶精神障害者保健福祉手帳等級1級の人
- ▶その他支援を必要とする人（難病を有する人など）

市ホームページは
こちらから▶



継下げ受給することで年金を増額することができます

老齢基礎年金と老齢厚生年金は、65歳で受け取らずに、66歳から75歳までの間で繰り下げて受け取ることができます。繰り下げた期間に応じて年金額が増額されます。老齢基礎年金と老齢厚生年金を別々に繰り下げすることもできます。

繰り下げた場合の増額率（受給率）や繰り下げの手続きについては、65歳の年金請求手続きの前にご相談ください。

問国保年金課☎ 0176-51-6753

八戸年金事務所☎ 0178-44-1742

詳しくは日本年金機構ホームページをご覧ください▶



交通遺児援護金を支給します

交通事故によって父や母を失った交通遺児の保護者に援護金を支給します。

対象 令和8年1月1日時点で、義務教育終了前であって、市内に住所を有する交通遺児の保護者
援護金 15,000円

申請期間 1月5日(月)～30日(金)

※詳しくはお問い合わせください。
問こども支援課☎ 0176-51-6716



▲中央家保ホームページ

▲eMAFF

小型特殊自動車には標識（ナンバープレート）を取り付ける必要があります

乗用装置のあるトラクタやフォークリフトなどの小型特殊自動車は、軽自動車税の課税対象となり、標識の交付を受けなければなりません。

敷地内や田畠でしか使用せず公道を走行しない車両や、現在使用していない車両も対象となります。

該当する車両を所有する人は、速やかに標識の交付手続きを行ってください。

対象となる小型特殊自動車

種別	最高速度	該当する車両の例
農耕作業用	35km/h未満	トラクタ、コンバイン、田植機など
その他	15km/h以下	フォークリフト、ショベルローダなど

持ち物 購入日や車両情報などが分かる書類、本人確認書類
※詳しくはお問い合わせください。

申問税務課 0176-51-6765

RABラジオがAMからFMへ

全国の多くの民放 AM ラジオ局は、令和10年秋までにFM局への転換を予定しています。RABラジオは1月から順次、AMラジオ放送の運用を休止し、FM放送とインターネットラジオ「radiko」を通じて番組を県内全域に放送します。

FM局周波数 八戸・十和田地区 (92.7MHz)

市の防災ラジオをお持ちの人へ受信設定変更の方法は、市ホームページをご確認ください。

問《ラジオの転換について》青森放送株 017-752-8402(問い合わせ専用ダイヤル)《防災ラジオについて》総務課 0176-51-6703



▲青森放送株ホームページ
▲市ホームページ

青森県特定（産業別）最低賃金改定

12月21日から青森県特定（産業別）最低賃金が改定されました。

時間額 ▶鉄鋼業 1,109円
▶電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業 1,045円

※詳しくはお問い合わせください。
問青森労働局 017-734-4114

詳しくはこちらから▶



今月の手話は「ようこそ」

両手のひらを上に向け、相手を迎えるように、右から左に動かす。



家電4品目は次の方法で処分してください

エアコン・室外機、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機は、家電リサイクル法によりリサイクルが義務付けられているため、燃えないごみや粗大ごみとして出すことはできません。次の方法で処分してください。
※処分にはリサイクル料金のほか、回収を依頼する場合、収集運搬料金がかかります。

●処分方法

買い替える場合	新しい製品を購入する販売店へ依頼
処分のみの場合	製品を購入した販売店か廃棄物処理業者へ依頼

自分で引き取り場所へ運搬する場合は、郵便局で家電リサイクル料金を振り込みの上、引き渡してください。

◆注意！不法投棄や無許可の回収業者への依頼は違法です。

【有料広告欄】 「広報とわだ」に広告を掲載しませんか。申込先 総務課広報男女参画係 0176-51-6702

アプリで「広報とわだ」を読みませんか？



スマートフォンアプリ「カタログポケット」で閲覧できます。

Available in 10 Languages!



とわだ子育てアプリ で快適！安心！便利！

子育てをもっと楽しく！

（とわだ子育てアプリ） 検索

とわだ子育てアプリには便利な機能が満載！

・ブッシュ通知で予防接種の受け忘れを防止！

子どもの成長を写真付きで記録！妊婦向けの機能も充実！

十和田市の子育て情報を随時配信！

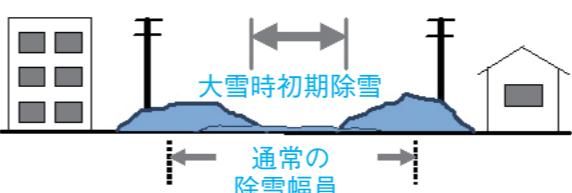
妊娠から出産、育児までをフルサポート



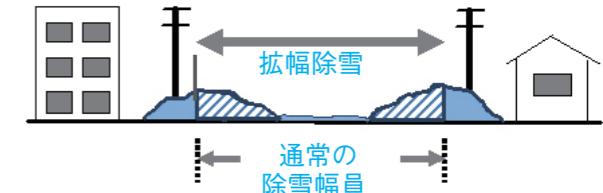
大雪時の道路除雪作業にご理解を！ 土木課 0176-51-6730

大雪時には、早期の通行確保を優先した除雪を行います

1 緊急車両が通行できる最低限の幅員を早急に確保し、すれ違いができるよう待避所を設けます。



2 順次走行車線の幅を広げるなど、通行の支障となる状態を確保します。



3 一時閉鎖路線と歩道を除雪します。
◆「一時閉鎖路線」には看板を設置します。

※大雪時の除雪作業の実施については市LINE公式アカウントでお知らせします。

大雪時は通行への影響を最小限に抑えるため、上記のとおり段階的に除雪を行います。移動が困難になることがありますので不要不急の外出を控えるなど、市民の皆さんでの理解とご協力をお願いします。

※夜間、土・日曜日、休日のお問い合わせは、市役所代表（0176-23-5111）にお願いします。



滑りやすい路面に注意しましょう！

除雪作業直後は路面が滑りやすくなります。

凍結した道路や横断歩道などの滑りやすい場所を歩く際は転倒に注意しましょう。

1月10日は「110番の日」 「110番」は適切にご利用ください

◆110番は緊急通報専用です！

110番は事件や事故など、緊急時の通報専用です。緊急性のない相談や問い合わせにつきましては、警察相談専用ダイヤル「#9110」へご連絡ください。

問十和田警察署 0176-23-3195

あおもり若者定着奨学金返支 援制度

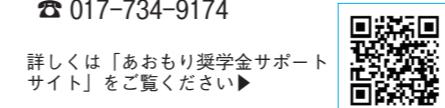
県内の対象企業に就職すると、企業と県が奨学金の返還を最大150万円支援します。事前登録が必要です。

支援対象者 ▶大学・短大などの卒業者で、就職時に35歳未満の人▶「日本学生支援機構」「青森県育英奨学会」の奨学金利用者▶青森県内で正規雇用されていない人
※詳しくはお問い合わせください。

問県若者定着還流促進課

017-734-9174

詳しく述べる「あおもり奨学金サポートサイト」をご覧ください▶



指名競争入札等参加資格審査申請書受付

各団体が実施する競争入札などに参加を希望する事業者などは、次により申請してください。提出要領や各指定様式などは各団体のホームページからダウンロードできます。

団体名	十和田市	十和田地域広域事務組合
提出書類	市指定様式ほか	組合指定様式ほか
受付期間	1月15日(木)～2月16日(月) (土・日曜日、休日を除く)	
の申請有効区分年度毎	①建設工事 ②測量・建設コンサルタントなど ③物品など(※)	令和8年度 令和8年度(中間年) 令和8・9年度
その他	①は毎年申請が必要です。 ②、③は中間年の受け付けとなりますので、令和7年度に登録申請済みの場合は必要ありません。 ※提出書類は2月16日(月)必着です。申請は持参または郵送・宅配便とし、メールでの受け付けはしていません。	令和7年度に登録申請済みの場合は必要ありません。 ※提出書類は2月16日(月)必着です。申請は持参または郵送・宅配便とし、メールでの受け付けはしていません。
提出・問い合わせ先	管財課 0176-51-6714	組合事務局 0176-20-8100

※③の内容は、製造・売買・修繕・印刷・委託・賃貸借・除雪などです。

不動産取得税について

不動産取得税とは、家屋を新築・増改築したとき、土地や家屋を売買・交換・贈与などで取得したときに一度だけ課税される県の税金です。

上北県税事務所から送付される納税通知書により、納期限までに、銀行・郵便局またはコンビニなどで納付をお願いします。

また、スマートフォンアプリやインターネット上の専用サイト「地方税お支払サイト」から、電子マネーやクレジットカードなどで納付することもできます。

税率など詳しくは、お問い合わせください。

問上北県税事務所課税課
☎ 0176-22-8111（内線 207・208）

募 集

十和田市雨水管理総合計画(案)への意見募集

市では、効率的かつ計画的な雨水対策を推進し、浸水被害の予防・軽減を図ることを目的に、雨水管理総合計画の策定を進めており、当該計画案に対する市民の皆さんの意見を募集しています。

募集期限 1月 13 日(火)
※詳しくは、市ホームページをご覧ください。

申込下水道課 ☎ 0176-25-4015
FAX 0176-25-4016
メール gesuido@city.towada.lg.jp

市ホームページはこちらから▶



十和田市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(案)への意見募集

市では、市のごみ減量化、資源化、適正処理を推進するための計画として一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の策定を進めており、当該計画案に対する市民の皆さんの意見を募集します。

募集期間 1月 6 日(火)～26 日(月)

申込まちづくり支援課

☎ 0176-51-6726

市ホームページはこちらから▶



令和8年度県立障がい者職業訓練校訓練生募集

募集訓練科名・定員 ①デジタルデザイン科 15人 ②OA事務科 15人 ③作業実務科 10人

募集期間 1月 5 日(月)～30 日(金)

試験日・場所 2月 6 日(金)・県立障がい者職業訓練校(弘前市緑ヶ丘1-9-1)

試験方法 ①②職業適性検査・面接 ③適性検査・面接(保護者同伴)

訓練期間 4月～令和9年3月

応募資格 次の要件を全て満たす人
►体力・精神的に1年間の訓練に耐えられ、就職を希望すること
►障がいが安定し、心身の疾病または障がいが訓練受講上、支障とならないこと(介助支援がある人は要相談)など

※①②は知的障がいがない人、③は知的障がいがある人が対象です。
※入校願書および資料はハローワークに備え付けています。

※ハローワークへお申し込みください。
問県立障がい者職業訓練校

☎ 0172-36-6882

令和8年度採用任期付職員募集

募集職種および募集人数

►一般行政 ▷事務 4人程度
▷事務(育休代替) 10人程度
試験案内(募集要項)・受験申込書

総務課、市役所本館1階総合案内に備え付け、または市ホームページからもダウンロードできます。

申し込み方法 電子申請(推薦)、郵送、持参のいずれかでお申し込みください。

申込期限 1月 20 日(火) ※必着

◆第1次試験

とき 2月 1 日(日)

試験場所 十和田市役所

※募集内容など詳しくは、試験案内をご覧ください。

申込総務課 ☎ 0176-51-6705

詳しくはこちらから▶



第3回サウンディング型市場調査未活用の市有財産について活用アイデアの募集

市では、未活用となっている市有の土地について、民間事業者による事業化の可能性などの市場性を把握し、今後、市が検討する方針や公募条件の参考とするためのサウンディング型市場調査(第3回)を実施しています。

市有の土地の利活用に興味のある事業者のご提案をお待ちしています。

受付期限 1月 16 日(金)

※詳しくは市ホームページをご覧いただきかお問い合わせください。

申込管財課 ☎ 0176-51-6707

令和7年度自衛官等募集

募集種目

自衛官候補生(任期制)

予備自衛官補(一般)

予備自衛官補(技能乙)

資格などを有する人(※)

応募資格

令和8年4月1日現在18歳以上33歳未満の人

令和8年4月1日現在18歳以上52歳未満の人

令和8年4月1日現在18歳以上で各種国家免許

資格などを有する人(※)

申込自衛隊青森地方協力本部三沢募集案内所 ☎ 0176-53-1346

※応募資格について、詳しくはお問い合わせください

受付期間

受付中～2月 14 日(土)

お問い合わせください

受付中～4月初旬予定

4月中旬予定

講座・教室

伝統工芸品「きみがらスリッパ」製作講習会

とき 2月 7 日(土)、8 日(日)

午前9時30分～午後3時30分

ところ 市民交流プラザ「トワーレ」

対象 両日参加できる人

定員 10人(先着順)

費用 3,500円(材料費)

持ち物 昼食、エプロン、霧吹き、タオル、はさみ、定規

申込期間 1月 5 日(月)～23 日(金)

※ご自身で製作したスリッパは持ち帰ることができます。きみがらスリッパと一緒に製作、継承していく仲間も募集しています。興味のある人はご連絡ください。

申込十和田きみがらスリッパ生産組合事務局(株)パワフルジャパン十和田内 ☎ 0176-28-3611



令和7年度甲種防火管理再講習

とき 2月 3 日(火) 午前9時40分～11時50分

ところ 十和田消防庁舎2階

対象 劇場、飲食店、店舗、ホテル、病院など不特定多数の人が出入りする建物(特定防火対象物)のうち、収容人員が300人以上の建物の防火管理者に選任されている人で、次の受講期限による。

(1) 新たに防火管理者に選任された人で前回の講習を修了した日から5年を越えている場合は、選任の日から1年以内
(2) (1)以外の人は、最後に受講した日以降における最初の4月1日から5年以内

定員 40人(先着順)

費用 1,650円(テキスト代など)

※申し込みの際にお支払いください。

申し込み方法 各消防署に備え付け、または消防ホームページからダウンロードした申込書に必要事項を記入の上、お申し込みください。

受付期間 1月 5 日(月)～9 日(金)

申込十和田地域広域事務組合消防本部予防課 ☎ 0176-25-4113

ホームページ <http://www.towada-kouiki.jp/syoubou/>

相続・遺言に関する講演会

「相続登記等の申請義務化」「自筆証書遺言書保管制度」「遺言作成と活用～相続をスムーズに～」についての講演会を開催します。

とき 1月 31 日(土) 午後2時～4時
ところ 地域交流センター「とわふる」
定員 25人(先着順)

申し込み方法 電話、または直接窓口でお申し込みください。

申込期間 1月 6 日(火)～30 日(金)

※受付時間は平日の午前9時～午後5時
申込青森地方法務局十和田支局総務課 ☎ 0176-23-2571

第7回市民あんしん生活用講座

とき 1月 23 日(金) 午後5時
ところ 中央病院 エントランスホール

テーマ 亡くなった際に必要な手続きについて

講師 (株)協同サービス 山谷 肇
総務部長

申し込み方法 電話またはQRコードからお申し込みください。

申込期限 1月 19 日(月)

申込医療介護連携相談支援センター ☎ 0176-23-5121

お申し込みはこちらから▶



【有料広告欄】 「広報とわだ」に広告を掲載しませんか。申込先 総務課広報男女参画係 ☎ 0176-51-6702

証明書がコンビニでも取得できます

マイナンバーカードと4桁の暗証番号が必要です

利用時間 6:30～23:00

(各店舗の営業時間内※システムメンテナンス日は除く)

【利用できる店舗】

- セブンイレブン
- ローソン
- その他マルチコピー機を設置している店舗

【取得できる証明書】

- 住民票の写し
- 印鑑登録証明書
- 戸籍の附票の写し
- 課税証明書

移住ポータルサイト「日々コレ十和田ナリ」

This Cherished Life.
あなたらしい暮らし
ここ「とわだ」にあります。





【有料広告欄】 「広報とわだ」に広告を掲載しませんか。申込先 総務課広報男女参画係 ☎ 0176-51-6702

十和田の“おいしい”を発信中。

あなたの“食べたい！”がきっとここにあります。

みなさんも
#おいしい十和田
をつけて投稿してください！







【奥入瀬アカデミー】市民向け講座 奥入瀬溪流、その魅力と未来

とき 1月18日(日) 午後2時~4時
ところ 市民文化センター
内容・講師 ▶第1部「奥入瀬溪流の魅力とその観方」NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会 川村祐一 理事 ▶第2部「野外博物館構想へトンネル工事で変わる奥入瀬観光~」青森県県土整備部道路課
申間 奥入瀬アカデミー事務局(NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会) ☎ 0176-23-5866

申し込み・詳細は[こちらから](#)



令和7年度災害ボランティア講座

災害への備えや被災地の復旧・復興の大きな力になる災害ボランティア活動について学ぶ講座です。自分にできることについて考えてみませんか。
とき 2月13日(金) 午後1時30分~3時40分
ところ 市民交流プラザ「トワーレ」
講師 日本赤十字東北看護大学介護福祉短期大学部介護福祉学科
講師 及川 真一さん
対象 防災や災害ボランティア活動に興味のある市民
定員 50人(先着順)
申込期限 2月4日(水)
申間市社会福祉協議会 ☎ 0176-23-2992

申し込み・詳細は[こちらから](#)



【有料広告欄】 「広報とわだ」に広告を掲載しませんか。申込先 総務課広報男女参画係 ☎ 0176-51-6702

~わたしたちが創る~希望と活力あふれる 十和田



有料広告募集中

【2色印刷】

1号広告 30,000円
(縦5.0cm × 横18.3cm)
2号広告 18,000円
(縦5.0cm × 横9.0cm)



子育てに関する講演会

とき 1月24日(土) 午前10時~11時30分
ところ 十和田カトリック幼稚園
内容 外であそぼう~子どものしあわせって何だろう~
対象 教職員、保育者および幼児期の子を持つ保護者
講師 (株)クレヨンハウス 戸来祐子 統括チーフ
定員 20人(先着順)
申込期限 1月26日(月)
申間情報政策課 ☎ 0176-51-6711

お正月特別企画

年の始めは図書館へ!「本の福袋」貸し出します

年の始めに読んでほしいおすすめの図書2冊を詰め合わせた「本の福袋」を一般向け・児童向け各15袋限定で貸し出します。
とき 1月5日(月)~ 約福袋がなくなり次第終了します。
ところ 市民図書館 対象 幼児~一般
貸し出し方法 袋に貼られたテーマをもとに「これだ!」と思った「福袋」を一つカウンターまでお持ちください。
※福袋の中身は分からないようにしています。
返却方法 返却期限までにカウンターまたは返本ポストに返却してください。

本を借りて運だめし!「としょかんおみくじ」

図書館で新年の運だめしはいかがでしょうか。
とき 1月5日(月)~31日(土) ところ 市民図書館
対象 期間中に本を借りた人
内容 期間中に本を借りると、貸し出しレシートに運勢が印字されます。

「図書セット」を貸し出しています

市民図書館 ☎ 0176-23-7808
市内にある事業所や幼稚園・保育園、託児所・学童、小・中学校、介護老人保健施設などへ、図書館が選んだ本を貸し出しています。
貸出冊数 1箱30冊(幼稚園・保育園などには紙芝居も貸し出しています)
貸出期間 1ヶ月 申込期限 1月23日(金)
※詳しくはお問い合わせください。

出張スマホ教室

とき 2月2日(月) 午後1時30分~3時30分
ところ 市民交流プラザ「トワーレ」
内容 スマホの基本(カメラ、マップの使い方など)、スマホでの防災情報入手法
定員 20人(先着順)
申込期限 1月26日(月)
申間情報政策課 ☎ 0176-51-6711

現代美術館イベント情報

□現代美術館 ☎ 0176-20-1127 問い合わせフォーム <https://forms.towadaartcenter.com/contact>

■トーク「国松希根太 連鎖する息吹」について

とき 1月18日(日) 午後2時~4時
ところ 美術館市民活動スペース
料金 無料
出演 四方 幸子館長

■学芸員によるギャラリートーク

とき 1月24日(土) 午後2時~2時40分
ところ 美術館受付
料金 無料 ※要常設展チケット

1月10日(土)は 現代美術館常設展市民無料デー

マイナンバーカード、運転免許証など住所が確認できるものを受付に提示してください。



*メンテナンス休館日 1月13日(火)~16日(金)

市民の広場

市民の皆さんに行う催しの紹介、サークルなどの会員募集のコーナーです。
費用の記載がないものは無料です。
掲載希望の団体、サークルの人は市ホームページをご覧ください。

百人一首カルタに触れてみよう!

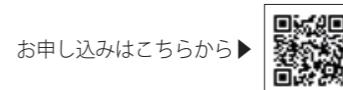
とき 1月10日(土) 午前10時~正午
ところ 市民文化センター
対象 幼児~一般
定員 20人(先着順)
申間十和田百人一首愛好会・久保 ☎ 0176-24-2496

南小学校合唱部第43回定期演奏会

「みんなで咲かせよう Best Smile」届けよう Best Music♪を合言葉に日々練習に励んでいます。応援してくださる地域の皆さんへ感謝の気持ちを込めて歌います。
とき 2月7日(土) 午後1時30分開演(午後1時開場)
ところ 市立南小学校体育館
持ち物 上履き
演奏曲 友だちになるために(全日本合唱コンクール銀賞)、アンパンマンのマーチほか
申間南小学校 ☎ 0176-23-2285

管理栄養士と学ぶ「はじめての離乳食教室」

大切な子どもの初めての離乳食作りについて、科学的根拠に基づいた最新の栄養情報と共に、ストレスなくできる毎日の離乳食作りのポイントなど、管理栄養士と一緒に学びませんか。
とき 1月31日(土) 午後1時30分~3時
ところ 地域交流センター「とわふる」
対象 これから離乳食開始予定のパパやママ(子どもの同伴可)
定員 10組(先着順)
費用 1,000円(材料費など)
申込期限 1月26日(月)
申間madeko認定栄養ケア・ステーション・白山 ☎ 090-9630-6556
メール madeko.eiyou@gmail.com



十和田市老人クラブ連合会 第34回芸能発表会

とき 2月6日(金) 午前10時~正午
ところ JA十和田おいらせ本店
定員 300人(先着順)
申込期限 1月20日(火)
申間十和田市老人クラブ連合会事務局 ☎ 0176-25-8633

海上自衛隊八戸航空基地大湊音楽隊コンサート

とき 2月11日(水) 午後2時~(午後1時開場)
ところ SG GROUP ホールはちのへ(八戸市公会堂)
申込期限 1月16日(金)
申し込み方法 往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、同伴者全員(最大5人まで)の氏名、年齢を記入の上ご応募ください。
※応募者多数の場合は抽選
申間海上自衛隊八戸航空基地広報室 ☎ 0178-28-3011(内線2332)

詳しくは[こちらから](#)



やさしい能楽体験講座

プロの能楽師から仕舞(しまい)と謡(うたい)を直接指導していただきます。
文化センターの能舞台で伝統文化を体験してみませんか。
初めての人も、お久しぶりの人も、大歓迎です。
とき 1月18日(日) 午後1時~2時
ところ 市民文化センター
対象 小学生~一般
定員 10人
持ち物 白足袋または白ソックス
申込期限 1月16日(金)(その後も随時受け付け)
申間十和田宝生会 ☎ 070-5090-6784
メール towada.hoshogmail.com

お申し込みは[こちらから](#)





冬のイベント情報

十和田市公苑称徳館 ☎ 0176-26-2100



▲詳しくはこちらから

称徳館特別展「人馬一体～人と共に生きる馬～」

馬の祖先であるヒラコテリウムや、日本在来馬、県内で生産された競走馬などにスポットを当て、12年に1度の午年にちなんだ展示や関連イベントを開催します。

とき 1月4日(日)～6月7日(日) 午前9時～午後4時30分(午後4時 最終入館)

ところ 馬事公苑称徳館

入館料 一般 310(250)円、高校・大学生 105(84)円、中学生以下無料

※()の中は20人以上の団体料金

※詳しくは、ホームページをご覧ください



駒っこランド冬まつり&雪像コンテスト

とき 1月24日(土)、25日(日) 午前10時～午後3時

ところ 馬事公苑

内容 雪上ゲーム大会やなべっこ団子振る舞い、福まき他内容盛りだくさん。

キッチンカーも来るよ。あなたの一票で雪像コンテスト入賞が決まる！

※雪の状況などによりイベントの内容が変更になる場合があります。



レベルアップ市民スキー教室

問十和田市スキー協会・坂下 ☎ 0178-79-6141

対象 小学生以上

定員 20人(先着順)

受講料 1日当たり1,000円

申込期限 各実施日の5日前



▲申し込みは
こちらから



奥入瀬渓流温泉スキー場

※準備を整えてスキーセンターハウスに

午前9時30分までに集合

問十和田湖冬物語実行委員会事務局(十和田湖観光交流センター「ぶらっと」内) ☎ 0176-75-1531

平成11年(1999年)に始まった「十和田湖冬物語」は、本年で第28回を迎えます。美しい大自然の中で行われる各種アクティビティや、厳寒の澄んだ夜空を彩る音楽と花火ショーで構成される十和田湖畔の冬季観光イベントをぜひお楽しみください。

とき 1月30日(金)～2月23日(月)

火・水・木曜日は定休日(2月11日(月)は開催)

※悪天候などの状況によって、日程・プログラムが変更になる場合があります。

ところ 十和田湖畔休屋 多目的広場



▲ホームページ
はこちらから

アクセス

▶車の場合



休屋北駐車場(有料)をご利用ください

▶バスの場合 (事前予約制)



十和田湖アクセスバス
(まちなか交通広場～十和田湖畔休屋)



JRバス 冬のおいらせ号
(JR八戸駅～十和田湖畔休屋)



※時刻表や料金は各社のホームページをご確認ください



冬花火(午後8時打ち上げ)



1月ほけんのページ

○相談・教室など

内容	とき	ところ・問い合わせ
◆こころの相談 悩みのある人とその家族	7日(水)、2月4日(水) 14:00～15:00 ※2日前までに要予約	
◆体組成計(Inbody) 無料開放デー 筋肉量・体脂肪率の測定を希望する人	20日(火) 9:00～16:00 ※ペースメーカーを装着している人は測定不可	保健センター 問健康増進課 ☎0176-51-6791
◆栄養相談 栄養・食生活に関する相談を希望する人	16日(金) 9:30～・10:20～ 11:10～・13:15～ 14:05～・14:55～ ※14日(木)までに要予約	
◆もの忘れ相談 もの忘れや認知症の不安がある65歳以上の人・家族	14日(水) 14:00～15:00 ※9日(金)までに要予約	市役所本館2階 会議室1 問高齢介護課 ☎0176-51-6720
◆子育て相談 乳幼児の保護者	6日(火)、20日(火)～ 22日(木) 9:30～11:00 ※3日前までに要予約	保健センター 問こども家庭センター ☎0176-51-6792
◆パパママ教室 市内在住の妊娠婦とパートナーやその家族	妊娠期②コース 18日(日) 10:00～11:30 ▶赤ちゃんのお風呂の入れ方 ▶育児講話 ▶情報交換会	市民交流プラザ 「トワーレ」 問こども家庭センター ☎0176-51-6797
	妊娠期①コース 25日(日) 10:00～11:30 ▶パパの妊婦体験 ▶妊娠婦と家族の栄養講話 ▶家事育児の役割分担について	
◆親のこころの相談 産前産後や子育て中に心身の不調を抱える当事者やその家族	2月9日(月) 14:00～15:00 ※2月4日(木)までに要予約	保健センター 問こども家庭センター ☎0176-51-6797

※乳幼児健康診査の対象者には個別通知します。

年間予定表は市ホームページ「乳幼児健康診査」または「とわだ子育てアプリ」をご覧ください。

◆子育てをもっと楽しく!



「とわだ子育てアプリ」

とわだ子育てアプリはこちらから▲

○上北保健所(旧上十三保健所)の相談窓口

内容	とき	ところ・問い合わせ
◆B型・C型肝炎検査 過去にB型・C型肝炎ウイルス検査を受けたことがない人	6日(火)・20日(火) 13:00～13:30 ※要予約	
◆精神保健福祉相談 心の悩みや病気に関する相談を希望する人	21日(水) 13:00～14:00 ※要予約	上北保健所 ☎0176-23-4261
◆療育相談 首すわり、おすわり、歩き始めが遅い気があるなど発育や発達について心配のある子どもの家族	28日(水) 9:00～11:30 ※要予約	
◆HIV(エイズ)に関する相談 感染の心配やエイズに関する相談を希望する人	6日(火)・20日(火) 13:30～14:30 ※要予約	上北保健所 エイズ専用 ☎0176-23-8450

休日当番医

問健康増進課 ☎ 0176-51-6790

とき	当番医	電話番号
1日(木)	のづき内科小児科クリニック(東十二番町14-30)	0176-20-1880
2日(金)	十和田第一病院(東三番町10-70)	0176-22-5511
3日(土)	十和田北クリニック(元町東五丁目8-54)	0176-21-3741
4日(日)	育成会内科小児科(西三番町1-28)	0176-21-5558
11日(日)	十和田東病院(三本木字里ノ沢1-247)	0176-22-5252
12日(月)	十和田泌尿器科クリニック(元町東一丁目3-8)	0176-22-7340
18日(日)	高松病院(三本木字里ノ沢1-249)	0176-23-6540
25日(日)	えとクリニック(東一番町2-23)	0176-25-2525

▶診療時間 午前9時～午後5時 ※詳しくはお問い合わせください。
▶急を要さない場合は、平日の診療時間内に受診をお願いします。

青森県小児科オンライン診療はこちらから▶

○献血のお知らせ

問健康増進課 ☎ 0176-51-6790

実施予定日	時間	ところ
3日(土)	10:00～12:00	イオンスーパーセンター十和田店
17日(土)	13:30～16:00	
21日(水)	10:00～12:00	十和田市役所
28日(水)	14:00～16:00	中央病院
29日(木)	10:00～12:00	青森県農業共済組合 南部支所
2月1日(日)	10:00～12:00	十和田済誠会病院
	13:30～16:00	イオンスーパーセンター十和田店

冬に流行しやすい感染症を予防しましょう

問健康増進課 ☎ 0176-51-6790

1月は、人との接触が増え、インフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症が広がりやすい季節です。冬は気温が低く乾燥し、ウイルスが活発になる季節でもあります。日頃からできる対策を続け、冬の感染症に備えましょう。

■感染症対策の基本

- ▶石けんを使用した小まめな手洗い
- ▶咳エチケットを守る
- ▶定期的な換気
- ▶十分な休養と栄養で体調管理
- ▶人が多く集まる場所ではマスクを着用
- ▶家庭内で食器やタオルの共用をしない

こころと暮らしの相談会(第5回)

問健康増進課 ☎ 0176-51-6791 メールkenko@city.towada.lg.jp

保健師や生活困窮者自立相談支援員などが、こころの不調や生活の困り事などの悩みをお聞きし、解決に向けてお手伝いします。どんな些細なことでも大丈夫です。一人で悩まず、悩みが深刻になる前に、お話ししてみませんか。

※予約不要です。会場に直接お越しください。

とき 1月20日(火) 午後3時～7時 ところ 市民図書館
対象 こころや経済・生活についての悩みを相談したい人



1月の市民無料相談

内 容	と き
◆行政相談（予約不要） 行政機関などの業務に対する苦情、意見、要望などの相談	5日(月)、19日(月) 13:00～15:00 ※5日(月)は西コミュニティセンターでも実施
◆人権相談（予約不要） いじめや差別、家庭内や隣近所とのもめ事などの相談	9日(金)、23日(金) 13:00～15:00
◆法律相談（定員7人） 相続、離婚、借金などの相談	28日(水) 13:00～16:00 ※21日(木)午前9時から予約受け付け開始
◆法テラス青森（定員6人） 相続・離婚・借金・労働問題などの相談（法律相談） ※資力基準に該当する人	13日(火)～対面、27日(火)～オンライン ※パソコンは市で用意します。 13:00～16:00 ※予約先☎050-3383-5552(法テラス青森)
◆司法書士相談（定員4人） 登記、相続、離婚、借金などの相談	15日(木) 13:00～15:00 ※8日(木)午前9時から予約受け付け開始
◆不動産相談（定員4人） 不動産売買、賃貸借などの相談	8日(木) 13:00～15:00 ※5日(月)までに要予約
◆くらしとお金の相談 (定員5人) 多重債務、生活資金などの相談	14日(水) 10:00～16:00 ※13日(火)午後4時までに要予約 予約先☎0120-102-084(消費者信用生活協同組合八戸事務所)
◆消費生活相談 悪質商法、架空請求、製品事故、クーリングオフなどの消費生活の相談	毎週月～金曜日（休日除く） 8:30～16:30 ※来庁の場合、相談前に要予約 市消費生活センター☎0176-51-6757
◆交通事故相談 交通事故による損害賠償、示談などの相談	毎週月～金曜日（休日除く） 9:00～12:00、 13:00～16:00 ※相談先：県庁☎017-734-9235

ところ まちづくり支援課 市民相談室

※予約は電話でも受け付けています。

■問 まちづくり支援課☎0176-51-6777

内 容	と き
◆出張年金相談 年金の無料相談	20日(火)、27日(火) 10:30～14:30 ※要予約（先着順） (来月は2月24日(火)に実施。実施日1ヶ月前から予約可) ※予約先 八戸年金事務所☎0178-44-1742

ところ 市役所本館2階 会議室2

問八戸年金事務所☎0178-44-1742、国保年金課☎0176-51-6753

【お願い】各種相談の予約をキャンセルする際は必ず
ご連絡ください。

いきいき健康づくり事業 室内ミニバレー大会

とき 1月18日(日) 午前9時～午後1時ごろ（午前8時30分受け付け開始） ところ 市立南小学校体育館

部門 初心者の部、混合の部 参加料 無料

申込期限 1月14日(水)

申し込み方法 参加申込書によりお申し込みください。

※1チーム4～6人、個人での申し込み不可

※内履き持参、傷害保険は各自加入

■問 スポーツ・生涯学習課☎0176-58-0187

人口と世帯	区分	人・世帯数	前月比	前年比
令和7年1月末 現在	人口	56,727人	-39人	-720人
	男	27,186人	-8人	-286人
	女	29,541人	-31人	-434人
	世帯	28,222世帯	0世帯	+55世帯

その他の催し

<>…開始時間

7日(水)	▶がんサロン<14:00>～中央病院別館（予約不要） (間)中央病院がん相談支援センター☎0176-23-5121)
8日(木)	▶おしゃべりサロン「クローバー」 <①10:00・②13:30>～市民交流プラザ「トワーレ」 (間)健康増進課☎0176-51-6791)
9日(金)	▶精神障がい者家族会「とわだ家族会」<10:00>～ 市民交流プラザ「トワーレ」 (間)健康増進課☎0176-51-6791)
10日(土)	▶話しのサロン・こころの広場ルピナス<10:00>～ 市民交流プラザ「トワーレ」 (間)健康増進課☎0176-51-6791) (24日(土)も開催) ▶こころのふれあいサロン「おあしじ」<10:00>～ 市民文化センター (間)健康増進課☎0176-51-6791) ▶ピアサポート事業おしゃべり会<13:30>～市民交流 プラザ「トワーレ」(要予約) (間)マープル親の会☎090-7325-9721)
17日(土)	▶認知症の人を抱える家族のつどいin十和田 <13:30>～市民文化センター (間) (公社) 認知症の人 と家族の会・佐藤☎090-7935-2939)
22日(木)	▶頭皮ケア・ウィッグ相談会<14:00>～ 中央病院がん相談支援センター (要予約) (間)中央病院がん相談支援センター☎0176-23-5121)
23日(金)	▶精神障がい者家族会「とわだ家族会」(個別相談会) <10:00>～市民交流プラザ「トワーレ」 (間)健康増進課☎0176-51-6791)

◆各施設の催しはこちらから

市民図書館▶

土・日曜日に読み聞かせを行っています。



市民文化
センター▶



市街地循環バス・西地区および東地区シャトル
バス運行情報 間)都市整備建築課☎0176-51-6735

■運休日 1月1日(木)～3日(土)

■一部迂回運行 1月18日(日) 消防出初式のため

◆市税の納付をもっと便利に！ 間)収納課☎0176-51-6762

▶クレジットカード・
インターネットバンキング

▶スマートフォン決済アプリ

地方税お支払サイトから、
納付書のeL-QRを読み込んで
納付できます。

詳しくはこれらから▶



スマートフォンなどで、納付
書のeL-QRを読み込んで納付
できます。

利用できるアプリや
納付方法など詳しく
はこれらから▶



2月2日(月)が納期限（口座振替日）です

市税等は納期限内に納めましょう

市・県民税第4期／国民健康保険税第7期
介護保険料第7期／後期高齢者医療保険料第7期

アプリで「広報とわだ」を読みませんか

利用方法

QRコードを読み込み、
アプリ「マチイロ」をイ
ンストールする。



～今日も無事でいてほしい～
みんなでつくろう安全・安心なまち
セーフコミュニティ十和田

